常磐病院
地域連携だより

りぃふ Leaf

2026年9月30日発行
TOKIWAKAI GROUP
Jyoban Hospital
Vol.98

https://www.tokiwa.or.jp/leaf/ September 2026 TAKE FREE

腎臓内科
Nephrologist Dr.Takumi Nishiyama
西山 匠医師



今月は、2026年度から腎臓内科医として着任した西山 匠(にしやま たくみ)医師をご紹介します。

PROFILE

令和5年3月	東北医科薬科大学医学部医学科 卒業
令和5年4月	東北労災病院 初期研修医
令和7年4月	福島県立医科大学附属病院 腎臓高血圧内科
令和8年4月	ときわ会常磐病院

今月は、腎臓内科医の西山匠(にしやま たくみ)医師をご紹介します。

Q よろしくお願いします。この春、常勤医として着任されましたが、常磐病院の印象はいかがですか?

着任前から当院が腎臓疾患および泌尿器疾患の診療に極めて長けているという評判を伺っておりましたが、実際に業務を開始してその印象をより強くいたしました。当院は、いわき市内にとどまらず、北茨城やいわき市以北などの広域から患者様を受け入れております。そのため、取り扱う疾患のバリエーションが非常に豊富で患者数も多く、身が引き締まる思いです。大変な面もございますが、医師として多種多様な症例を経験できる、大変やりがいのある環境だと感じております。



Q 西山先生が医師を目指されたきっかけや、現在の診療科を専門に選ばれた理由についてお聞かせください。

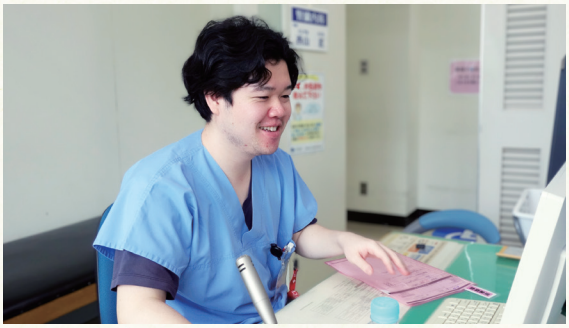
医師を志した根本的なきっかけは、幼少期に兄を病気で亡くしたという出来事です。身近な家族の死という強い原体験を経て、「病気で苦しむ人を一人でも多く救いたい」という思いが芽生え、医学部を目指して猛勉強を重ねました。

その後、数ある診療科の中から腎臓内科を選択した理由は大きく二つございます。一つ目は、腎生検(腎臓の組織を採取する検査)を通じて自ら組織を取り、顕微鏡で病態を評価して診断を下し、治療方針の決定から実際の治療に至るまでの一連のプロセスを、自らの手で一貫して完遂できる点に強い魅力を感じたことです。

二つ目は、腎臓という器官の性質上、単一の臓器のみを診るのではなく、全身の循環や代謝を包括的に管理する必要がある点です。専門医としての高度な手技や診断能力を発揮しながらも、総合的に患者様の全身状態に向き合える内科医でありたいと考え、腎臓内科を専門として歩むことを決意いたしました。

Q 先生が得意とされている診療領域について教えて下さい。

私が特に力を入れている分野は、腎臓疾患全般における体液管理および電解質管理です。腎機能が低下した患者様に対しては、体内の水分バランスやナトリウム・カリウムといった電解質を精緻にコントロールすることが極めて重要となります。全身状態を細やかに評価しながら、一人ひとりの病態に合わせた適切な全身管理を行うアプローチを得意としております。地域の患者様の健康維持に貢献できるよう、専門性を活かした質の高い診療を提供してまいります。



(↖裏面へ続く)



Q診療の際に心がけていることは何ですか?

患者様とのコミュニケーションを密にとることを一番に心がけております。腎臓内科の診療や透析療法においては、これまでの生活習慣や服薬状況の管理が治療成果に大きく影響いたします。しかし、ご自身の生活習慣を見直すことや、定時での服薬を継続することが難しい患者様も少なくありません。そのため、お一人おひとりのライフスタイルや背景、お人柄をしっかりとお聞きし、無理なく治療を継続していただけるよう丁寧な信頼関係の構築に努めております。

Qプライベートに関する質問なのですが、先生のご趣味はなんでしょう?休日は何をされていらっしゃいますか?

趣味はゴルフで、休日にはよくコースへ足を運んでおります。いわき市はゴルフを楽しむには絶好の環境であり、着任してからもヘレナ国際カントリー倶楽部や小名浜カントリークラブなど、素晴らしいコースでプレーを楽しませていただいております。スコアは90前後を行き来するくらいですが、自然の中でリフレッシュすることが心地よい息抜きとなっており、日々の診療への英気を養っております。

Q最後になりますがいわき市の関係医療機関の先生方にメッセージをお願いします。

地域の先生方におかれましては、日頃より温かい連携をいただき深く感謝申し上げます。当科では、蛋白尿や血尿などの初期症状から腎機能低下、さらには透析療法が必要な段階に至るまで、腎疾患全般にわたって責任を持って診療を担当いたします。少しでも気になる所見や腎機能低下がみられる患者様が目につきましたら、どうぞお気軽に当科へご紹介いただけますと幸いです。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

TOPIX 01 常磐病院JMATチーム 熊本県宇城市で医療支援を実施



8月28日から30日の期間、常磐病院JMATチームが、熊本県宇城市にて被災地医療支援活動をおこないました。今回は黒川副院長をはじめ、看護師2名、薬剤師1名の計4名で現地へ赴き、避難所での健康管理や生活環境改善、関係機関との連携調整業務にあたりました。

現地では、未だ水の確保に見通しが立たず帰宅できない方や、ご自宅が倒壊してしまった方々が不安な日々を過ごされています。さらに、自宅の倒壊は免れたものの、幼いお子さまが被災時のトラウマからPTSDを発症してしまい、ご家族全員で避難所生活を続けざるを得ない厳しい状況にも直面しました。

被災地の復興と生活再建には、長期的な「継続支援」が求められています。ときわ会常磐病院は、今後も被災された皆さまの心と身体の健康を守るため、医療・保健支援活動を続けてまいります。

TOPIX 02 いわき湯本高等学校 吹奏楽部が演奏 「夕暮れコンサート」を開催

9月17日(木)、常磐病院の駐車場にて福島県立いわき湯本高等学校 吹奏楽部の皆様をお迎えし、「夕暮れコンサート」を開催いたしました。



開演とともに、変わりゆく夕空の下で響きわたる透明感あふれる音色。澄んだ秋空に包まれて聴く吹奏楽の演奏は、とても素晴らしいものでした。おなじみの名曲が流れると会場には手拍子が広がり、患者様や地域の皆様の笑顔があふれ、会場全体が温かな一体感に包まれました。秋風が心地よい、心和む夕涼みのひとときとなりました。

素敵な演奏で心温まる時間を届けてくださった、いわき湯本高等学校 吹奏楽部の皆様に、心より感謝申し上げます。常磐病院は、これからも地域の皆様とのつながりを大切に、温もりある活動を続けてまいります。



公益財団法人ときわ会 常磐病院（院長 新村浩明）
地域医療連携課
窓口受付/毎週月曜日～金曜日　8:30～17:00
〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地
TEL:0246-81-5522 / FAX:0246-81-5577

ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。
患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合せくださいますようよろしくお願いします。